

専修大学大学院 経済学研究科経済学専攻 教員紹介

氏 名	兵頭 淳史 教授
校舎・コース	生田・社会経済コース
専修科目	社会政策
担当科目	社会政策特論（労働組合論・労働運動史） 社会政策特論演習
研究テーマ	・日本の労働組合運動に関する史的研究 ・労働運動の国際比較研究
研究指導領域	第二次世界大戦直後から高度成長期にかけての時期を中心に、日本の労働組合運動の発展と衰退・変容過程について研究しています。併せて、日本と米国を中心とする労働運動の国際比較も行っています。 研究指導領域は以下の通りです。 ・労働運動の歴史 ・労働組合の現状分析 ・労使関係の歴史と展望 ・社会政策と労働運動との関係
志願者へのメッセージ	労働問題研究のなかでも、労働組合・労働運動に関する研究は、今日では比較的マイナーな存在となっています。しかし、労働条件や労働政策を決定してゆくうえで、本来、労働組合や労働運動、それと使用者が結び結ぶ労使関係のあり方如何は、本来決定的な重要性をもつものであり、労働問題研究の中心と言ってよいものです。労働に関心をもつ多くの方が、労働運動・労働組合に着目し、その研究にチャレンジしてくれることを期待しています。
研究者情報システムリンク	所属学会や学会発表、論文・著書などより詳細な情報は以下のリンクからご確認ください。 研究者情報システム 兵頭 淳史教授ページ